

項目 \ 書名	新編 新しい社会 地図 <span style="float: right;">2 東書</span>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○日本・世界の自然、産業、歴史など、さまざまな情報を地図上に掲載し、空間認識をともなって多面的・多角的な見方や考え方を養う工夫がなされている。 ○基本図ページやテーマ別の資料ページの随所に「ジャンプ」ボタンが付されており、相互に関連するページにリンクできるようになっており、多面的・多角的に考察するような構成になっている。
特 色	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が解説された「この地図帳の地図記号」ページが巻頭に設けられており、読図の基礎的な技能を身に付けられるようになっている。</p> <p>○世界の一般図は、ユーラシア大陸から順に西方向へ並べ、随所に大きく大陸・海洋をおさえる地図を掲載し、地球の姿の中で捉えさせる工夫が見られる。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○基本図の縮尺標記の側に「注目したい記号」を示すことで、その地域の地理的特色に気づかせ、思考力や判断力を養う工夫を見ることができる。</p> <p>○歴史的な結び付きが強いヨーロッパ・アフリカを同じ一般図に掲載するなど、地域的なつながりを重視したさまざまな範囲の一般図を掲載し、地理だけでなく、歴史や公民の学習にも活用できるように構成されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○ご当地キャラクターや、オリンピック・サッカーワールドカップの開催国など、生徒の興味・関心を高める資料を取り上げ、学習に取り組む意欲や態度が高まるように配慮されている。</p> <p><b>&lt;我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫&gt;</b></p> <p>○災害や環境といった今日的な課題を扱った特集ページを設けたり、北方領土や竹島や尖閣諸島といった実社会における領土問題を写真付きで基本図ページに掲載するなど、実践的な地理的認識を養う配慮が見られる。</p>
資 料	<p>○日本との結び付きが特に強いアジア、ヨーロッパ、北アメリカの各州には、データを基にした鳥瞰図（海底地形を含む）を見開きで掲載し、生徒が地形のイメージを捉えやすいよう工夫されている。</p> <p>○日本の拡大図（地方別地図）は、八地方に区分され、各地方のようすが読み取れるよう、100万分の1の縮尺で統一されている。</p>
表記・表現	<p>○ユニバーサルデザインの観点から、色覚特性がある生徒にした色使い（淡い色）やデザインを採用している。</p> <p>○基本図は等高段彩で表現され、地名や記号がはっきり目立つように工夫されている。</p>
総 括	<p>○地図中の文字を縁取りしたり、色づかいが優しく淡い色で統一したりと、色覚特性をもつ生徒を含め、判別しやすいよう工夫されている。</p> <p>○基本図ページやテーマ別の資料ページの随所に「ジャンプ」ボタンが付され、相互に関連するページにリンクできるようになっており、多面的・多角的に考察できるような構成になっている。</p>

書名 項目	中学校社会科地図 46 帝国
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○日本・世界の自然、産業、歴史など、さまざまな情報を地図上に掲載し、空間認識をともなって多面的・多角的な見方や考え方を養う工夫がなされている。 ○随所にテーマ別の資料やグラフなどをまとめた「ながめてみよう」が配置され、「地図をみる目」では、地図を通して地理的な見方や考え方を身に付けるようになっている。
特 色  内 容  資 料  表記・表現	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> ○方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が解説された「この地図帳の使い方」ページが巻頭に設けられており、読図の基礎的な技能を身に付けられるようになっている。 ○地理的分野・歴史的分野ともに、当該ページに関わる写真資料、文章資料、絵などを掲載し、他分野間の横断的な知識の定着に工夫が見られる。 <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> ○地図の着眼点を示した「地図を見る目」、地図から読み取る学習活動や、言語活動を促す「やってみよう」など思考力が高められるような配慮が見られる。 ○統計をより有効に活用できるよう、上位国・上位県の数値が赤字で示されているほか、県別統計資料には地方別合計欄があり、地方どうしの比較がしやすくなっており、思考力・判断力の伸長が目指されている。 <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> ○学習上重点が置かれる中国・ヨーロッパ・北アメリカには、生活、産業、著名な建築物などのイラストを配した見開きの大鳥瞰図が設けられ、生徒の興味関心を喚起させる工夫がなされている。 <p><b>&lt;我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫&gt;</b></p> ○災害や環境といった今日的な課題を扱った特集ページを設けたり、北方領土や竹島や尖閣諸島といった実社会における領土問題を写真付きで基本図ページに掲載するなど、実践的な地理的認識を養う配慮が見られる。 <p>○学習上重点が置かれる中国、ヨーロッパ、北アメリカには、生活、産業、著名な建築物などのイラストを配した見開きの大鳥瞰図があり、地域の特色を視覚的にとらえられるよう工夫がなされている。                      ○日本の拡大図（地方別地図）は、八地方に区分され、各地方のようすが読み取れるよう、100万分の1の縮尺で統一されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインの観点から、色覚特性がある生徒に配慮された色使い（原色系や蛍光色に近い明るい色）で描かれている。                      ○基本図は等高段彩で表現され、地名や記号がはっきり目立つように工夫されている。</p>
総 括	○地図の着眼点を示した「地図を見る目」、地図から読み取る学習活動や、言語活動を促す「やってみよう」など思考力が高められるような配慮が見られる。 ○統計をより有効に活用できるよう、上位国・上位県の数値が赤字で示されているなど、データどうしの比較がしやすくなっており、思考力・判断力の伸長が目指されている。

<p>項目</p>	<p>書名</p> <h1 style="text-align: center;">新編 新しい数学</h1> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○段階的に学習内容が定着するように構成され、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるよう工夫されている。また、身近な事象を題材にし、数学的な思考力・表現力などの育成を図るように構成されている。</p> <p>○各章の導入課題では操作活動を取り入れ、その活動が本文の指導へとつながり、数学的活動のよさや楽しさを実感できるように設定されている。</p>
<p>特色</p> <p>内容</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○「例」と「問」の間に「たしかめ」が設けられている。生徒がよくつまずくものを「まちがい例」として紹介し、同様の誤答をさせない工夫がある。「ちょっと確認」や巻末「数学を広げる」では既習事項が、節末「基本の問題」では本文参照ページや例などが示され振り返りをするように設定されている。巻末「補充の問題」は、反復練習として利用するように構成されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○「学び合い」のページでは、すべて右ページ始まりとし、多様な考えを引き出したり、自力解決の際に考えの例が見えないように構成されている。また多様に考えたり、友達の考えを読みとったりする場面では「生徒キャラクター」により考える糸口や手立てがあり、言語能力の育成も図れるようになっている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○「数学的活動Q」が、全ての節の導入に設定され、新たな学習へ意欲を高める課題が用意されている。この「Q」が、次の学習にもつながるように構成されている。「数学のまど」や巻末「社会とつながる」「教科とつながる」では、興味・関心を高め、他教科へ数学の活動を広げる内容に構成されている。</p> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <p>○「数学のまど」や巻末「活用問題」では、数学を活用して調べたり判断したりする内容が取り上げられている。環境教育、福祉教育、防災教育に関して、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p>
<p>資料</p>	<p>○コマ送りの挿絵が入れられている。また、日常生活の中の具体的な場面、状況に応じた挿絵や写真が問題解決の手だてになるように用いられている。巻末付録には、切り取って操作活動ができるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料等については、項目やグラフが見やすい淡色で色付けされている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○各単元の始めに「Q」があり、「考えてみよう」「調べてみよう」など、活動のねらいが示され、黄色の枠で囲まれている。まとめは緑の枠で囲まれている。解答がノート形式で示され、教科書とノートが一体化されている。</p> <p>○新しい用語や記号はゴシック太字で示され必要に応じてルビが振られている。</p>
<p>総括</p>	<p>○巻頭「学習の進め方」では、見通しをもって学習を進められるように教科書の使い方など、「数学マイノート」ではノートの記述例が示されている。各節に、基礎・基本が身に付くように「例」「たしかめ」「問」が配列されている。</p> <p>○数学トピックスとして「数学のまど」、数学を活用する観点から「社会とつながり」などが示され、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>

<p>項目</p>	<p>書名</p> <h1 style="text-align: center;">新版 数学の世界</h1> <p style="text-align: right;">4 大日本</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○既習事項との関連を踏まえて導入課題が扱われている。また、側注を利用することで既習事項を振り返らせるとともに、繰り返し練習する問題を設けて基礎的・基本的な知識や技能を習得するように構成されている。</p> <p>○身近な事象を題材として取り上げられ、数学を活用する場面を設けるなど、数学的な思考力や表現力などの育成を図れるように構成されている。</p>
<p>特色</p> <p>内容</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる&gt;</b></p> <p>○基本的な内容について教科書に書き込みし、側注「思い出そう」を利用することで学びを振り返るように構成されている。節末「練習」では本文参照ページが示され、振り返りをするように設定されている。また、巻末「まとめの問題」は、反復練習として利用するように構成されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○巻頭「ノートのつくり方」では、ノート作りを通して数学的な思考力・表現力を高めるように、ノート指導のポイントが示されている。「研究をしよう」や「レポートを書こう」のページを掲載し、研究の仕方やレポートの見本、書く活動が示されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○巻頭「教科書の使い方」「数学の世界へようこそ」など、主体的な学習を促すページが設定されている。活用問題「挑戦しよう」や発展的な学習「もっと数学！」など、主体的に学習に取り組めるとともに、学年を超えて幅広い知識を習得できるように構成されている。</p> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <p>○各章「利用の節」や「挑戦しよう」では、学習内容を活用する場面が設けられている。コラム「社会にリンク」では、数学を学ぶことのよさを実感できるように構成されている。巻末「Mathful」では、数学が私たちの生活に生かされていることや数学の世界を知ることができるように構成されている。</p>
<p>資料</p>	<p>○学習内容と日常生活との関連が図られるような挿絵や写真が用いられている。また、ポイント場面では、キャラクターの挿絵を使用して強調されている。各章のはじめに写真を配置し、学習意欲を高めるように構成されている。</p> <p>○統計資料などは項目が色分けされており、複数の場合には相互に比較できるように1ページ内に配置されている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○見開き2ページに小節がまとめられており、公式や定理などのまとめはオレンジ色の枠で囲まれている。解答例は板書形式でまとめられている。</p> <p>○各単元の始めに「？」「▷」があり、学習のねらいが示されている。新しい用語や記号はゴシック太字で示され、必要に応じてルビが振られている。</p>
<p>総括</p>	<p>○日常生活に関連した題材が取り入れられている。また、1単位時間分の学習内容が見開き2ページで設定され、数学的活動が促されるように示されている。章末には、数学を学ぶことのよさを味わえるように「社会にリンク」が、巻末には数学を深めることができるように「Mathful」が示され、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>

項目		書名	11 学 図
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○基礎的・基本的な問題が用意され、知識及び技能の定着が図られるように構成されている。身近な事象が題材として取り上げられ、根拠を説明する場面を設定するなど、数学的な思考力・表現力を高めるように構成されている。</p> <p>○観察、操作や実験などの数学的活動が、主体的な学習への展開につながり、数学的活動のよさや楽しさが実感できるように設定されている。</p>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○各領域の学習に入る前に「ふりかえり」が配置され、学習内容に関連する既習事項が取り上げられている。節末「確かめよう」では本文参照ページや例など、振り返りするように設定されている。章末「章のまとめの問題」、巻末「復習」は反復学習をして利用するように構成されている。数と式の領域では「計算力を高めよう」が設定され、計算技能の習熟が図れるように構成されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○吹き出しを活用することにより、考える糸口や手立ての発見につなげている。また、話し合いの仕方など言語活動を意識できるように構成されている。章末「深めよう」や巻末「課題学習・自由研究」では、習得した知識や技能、考え方を活用し、学習したことをさらに深め広げられるよう構成されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○新しい学習への興味・関心を促すため、各章の導入では、身近な題材が扱われている。節末には、今後の学習につなげるための「投げかけ」と参照ページが明示され、学習の前後のつながりを明確にして、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <p>○章末「まとめの問題」や「深めよう」では、日常的な課題や他教科と関連させた課題が設定されている。環境教育、福祉教育、防災教育に関しては、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p>	
	資料	<p>○学習内容との関連や、問題解決場面での手立てを気付かせる際に、挿絵や写真、イラストが効果的に活用されている。巻末付録には、切り取って立体や模型が作成でき、操作できるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料などは、白黒で掲載されており、復習の場合には相互に比較できるよう1ページ内に配置されている。</p>	
	表記・表現	<p>○巻頭「目次」や各領域「ふりかえり」では、既習事項との関連が示されている。「確かめよう」や「計算力を高めよう」では基礎・基本の定着を図り、「まとめの問題」では、見方や考え方を活用する問題が配置されている。</p> <p>○日常生活と数学との関連を深めるために「深めよう」や「クローズアップ」が掲載され、主体的な学習が展開されるよう構成されている。</p>	
総括		<p>○巻頭「目次」や各領域「ふりかえり」では、既習事項との関連が示されている。「確かめよう」や「計算力を高めよう」では基礎・基本の定着を図り、「まとめの問題」では、数学的な見方や考え方を活用する問題が配置されている。</p> <p>○日常生活と数学との関連を深めるために「深めよう」や「クローズアップ」が掲載され、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>	

項目		書名	17 教出
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p><b>中学数学</b></p>	
特色	内容	<p>○基礎的・基本的な知識や技能を習得するために、章の始めに既習事項を確認する問題や章末にその章をまとめるページが設けられている。また、身近な事象を題材にし、数学的な思考力・表現力を育成するように構成されている。</p> <p>○観察、操作や実験などの活動が取り上げられ、数学的な見方や考え方のよさを気付かせるように構成されている。</p> <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○各章の入口にはその章に関連する既習内容を確認する問題を、出口にはその章で学習した基礎的・基本的な内容をまとめるページが設けられている。また、本文中では、既習事項が定着していない内容について、「もどって確認」で取り上げ振り返りをするように構成されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○各学年の巻末に「数学で大切にしたい考え方」が配置され、習得した知識や技能、考え方などを活用し、学習したことをさらに深め、広げられるように構成されている。また、「伝えよう」や巻頭「ノート工夫」では、自分の考えを説明したり、ノートづくりを通して、数学的な思考力・表現力を高めたりするように構成されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○新しい学習への興味・関心を促すため、各章の導入では、身近な題材が扱われている。また、「チャレンジコーナー」や「数学ミニ辞典」、「数学メモ」などで、興味・関心を促すための課題や数学に関連する歴史などの題材を扱うことにより、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <p>○各章の「みんなで数学」や「数学ミニ辞典」では、応用的な課題や身のまわりの事象に数学を活用する課題が設けられている。環境教育、福祉教育、防災教育に関しては、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p>	
	資料	<p>○日常生活の中の具体的な場面、状況に応じて、挿絵や写真が問題解決の手立てになるように用いられている。巻末付録では、切り取って立体の作成など操作活動ができるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料などは、行と列が色分けされて配置されており、複数の場合には、相互に比較できるよう1ページ内に配置されている。</p>	
	表記・表現	<p>○各単元の本文の始めに「目標」があり、新しく学習する方向性が示されている。まとめや性質、解法の手順が緑色の枠の中の太字で示されている。</p> <p>○新しい用語や記号は黄色の枠の中にゴシック太字で示され、必要に応じてルビが振られている。</p>	
	総括	<p>○章の始めには、これから学習する内容に関連する既習事項「学習する前に」が、章末には、学習内容を振り返る「学習のまとめ」が設けられている。学習した内容の定着を図るため、節末「基本のたしかめ」、章末「章の問題」など繰り返し練習するように設定されている。章末「数学の広場」や「ジャンプ」では、数学を深めることができ、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名 <b>未来へひろがる数学</b> <span style="float: right;">61 啓林館</span></p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○基礎的・基本的な知識や技能を習得するために、系統性を考え、既習事項を基に新しい学習内容へ発展させていけるように構成されている。また、基礎・基本を身に付けるための「基本問題」などが設定されている。 ○観察、操作や実験などの活動を通して、数学的な見方や考え方の習得を図るとともに、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>
<p>特色</p>	<p><b>特 内容</b></p> <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b> ○本文中の「ふりかえり」マークで学習内容に関連する既習事項が取り上げられ、復習や学び直しをするように構成されている。巻末の「力をつけよう」「まとめの問題」では、自主的に学習できる問題や、さらに力を伸ばす問題が取り上げられている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b> ○数学的な思考力・表現力を高めるために、「千思万考」が設けられている。また、「自分のことばで伝えよう」では、双方の考え方を伝え合う活動が設定されている。「自分の考えをまとめよう」や巻頭「ノートのかふう」では、筋道を立てて発表するなど数学的な表現力を高めるように構成されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b> ○興味・関心をもって主体的に数学を見出し、発展させていけるように、数学的活動を取り入れた「学習のとびら」が設定されている。「数学の展望台」では、生徒の興味・関心・意欲を高める話題を掲載している。別冊「MathNaviブック」は、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b> ○章末「身のまわりへひろげよう」や別冊「MathNaviブック」では、数学を日常生活へ活用して考えたり判断したりできる課題が設定されている。環境教育、福祉教育、防災教育に関しては、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p> <p><b>資 料</b></p> <p>○日常生活の中の具体的な場面、状況に応じて、挿絵や写真が問題解決の手だてになるように用いられている。巻末付録では、切り取って立体の作成など操作活動ができるような資料が用意されている。 ○統計資料などは、項目ごとに色分けされて配置されており、複数の場合には、相互に比較できるよう1ページ内に配置されている。</p> <p><b>表記・表現</b></p> <p>○各単元の本文の始めに「ひろげよう」があり、新しく学習する方向性が示されている。例題の解答例はノート形式でまとめられている。 ○新しい用語や記号は緑色の枠の中にゴシック太字で示され、必要に応じてルビが振られている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○巻頭「学習の進め方」では、学習する手立てやノートの書き方が示されている。また、基礎・基本の定着を図るための「基本のたしかめ」や「繰り返し練習」などが設けられている。別冊「MathNaviブック」は、既習内容の振り返りや数学の有用性を感じさせ、「自由研究に取り組もう」では数学の楽しさを実感させ、学習の幅をさらに広げ、深められるように構成されている。</p>

<p>項目</p>	<p style="text-align: center;">書名</p> <h1 style="text-align: center;">中学校数学</h1> <p style="text-align: right;">104 数研</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための問題が設定され、その問題に関連する既習事項が示されている。また、振り返りや反復学習の場面を設けることにより、基礎・基本の定着が図られるように構成されている。</p> <p>○各章の導入では、興味・関心を促すための課題が取り上げられ、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>特 内 容</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○巻頭「クイックチャージ」「ドリルでチャージ」では、既習内容の確認ができ、わからない箇所があれば、「ふりかえり」のページにさかのぼり既習事項の確認ができるように構成されている。また章末「基本問題」では、学習した内容がまとめられ、反復練習として利用するように構成されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○数学的活動に関連する「見つけよう」「伝え合おう」「活用しよう」の「問」や「項目」には、マークが付けられている。巻末「知識を活用しよう」では、その学年の内容を総合的に活用して取り組む活動が設けられており、数学的な思考力・表現力を高められるように構成されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○「章のとびら」では、興味・関心を促すための身近な題材が扱われている。「説明文」や「問」でも、数学的活動を通して学習に取り組めるように構成されている。「数学探検」では、既習事項を活用して考えたり、身のまわりの事象から数学を見い出したりできるような題材が取り上げられている。</p> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <p>○巻末「数学探検」や章末「やってみよう」では、数学の歴史や身のまわりで数学を活用して考えたり、判断したりできる題材が取り上げられている。環境教育、福祉教育、防災教育に関しては、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○日常生活と関連する場面や学習内容の具体的な状況を想起させる際には、写真が用いられている。巻末付録には、切り取って立体が作成でき、操作できるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料などは、行と列が色分けされており、複数の場合には、相互に比較できるよう1ページ内に配置されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○各単元のタイトルの下に「ここで学ぶこと」があり、その項目で学ぶことや目標が示されている。また「Q」で新しく学習するきっかけになる問題が示されている。まとは桃色の枠で囲まれている。</p> <p>○新しい用語や記号はゴシック太字で示され必要に応じてルビが振られている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○「章とびら」や章末「発展」では、数学的な思考力が深められるように設けられている。巻頭「クイックチャージ」では、基礎・基本が身に付くよう構成されている。また、巻末「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」では、1年間のまとめの問題が設定されている。また、日常と関連付けるために「数学探検」が設けられ、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>	



<p>項目</p>	<p style="text-align: center;">書名</p> <h1 style="text-align: center;">中学数学</h1> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○学習のねらいや内容の展開を整理することにより、主体的な学習活動が展開されるように構成されている。また、基礎的・基本的な内容を習得するための題材が用意されている。</p> <p>○観察や操作、実験などの操作活動を通して、数学的な見方や考え方の習得を図るとともに、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>
<p>特色</p>	<p><b>特 内 容</b></p> <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○学習する内容が項目ごと2ページにまとめられている。各章の始めの「次の章を学ぶ前に」や本文「ふりかえり」では、既習事項を確認するように構成されている。章末「繰り返し練習」や巻末「力をのばそう」では、基礎的・基本的な知識・技能を定着させる反復練習として利用するように構成されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○小節末に設けられている「やってみよう」では、学んだことを活用して考えたり調べたりする課題が示されている。「話し合おう」では、みんなで話し合っ解決する課題が設けられている。各小節「見つけよう」「生活への利用」「説明しよう」では、数学的な思考力・表現力を高める題材を取り入れている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○巻頭「数学の学習で大切なこと」では、数学的活動や言語活動に取り組むための内容が扱われている。「章の扉」では、学びの必然性・ストーリー性を重視した課題や身近な話によって、学習意欲を高められるように構成されている。「次の章を学ぶ前に」と「くり返し練習」には、家庭学習マークがあり、予習・復習への主体的取り組みを促すように構成されている。</p> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <p>○各章「生活への利用」や「数学のたんけん」では、日常生活や社会の中で数学を利用している内容が扱われている。環境教育、福祉教育、防災教育に関しては、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p> <p><b>資 料</b></p> <p>○問題解決のための具体的な操作・手順などを示す際に、挿絵や写真が用いられている。巻末付録では、切り取って立体の作成など操作活動ができるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料などは、項目が色分けされて配置されており、複数の場合には、相互に比較できるよう1ページ内に配置されている。</p> <p><b>表記・表現</b></p> <p>○各単元の始めに「Q」などの学習のねらいや導入問題が示されている。まとめは黄色枠の中に太字で示されている。解答例はノート形式でまとめられている。</p> <p>○新しい用語や記号は、緑色の枠のゴシック太字で示され、必要に応じてルビが振られている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○章の始めの「次の章を学ぶ前に」では、既習事項を振り返ることができるように構成されている。基礎・基本の定着を図るため、章末には「くり返し練習」や「たしかめ」が設けられている。また、日常生活と関連付けた「生活の利用」や数学を深めるための「数学研究室」などが設けられ、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>

項目		書名	2 東京書籍
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○自然の事物・現象について観察・実験を行い、探究的に学習する過程を通して、科学に関する知識と能力を身に付け、真理を探究しようとする態度の育成を図っている。</p> <p>○自然や真理を重んじ、他者の意見を尊重する態度の育成を図っている。また、日本の伝統的な産業・文化、科学研究との関連や学習内容と職業との関連を示し、将来の進路を考える手掛かりを示している。</p>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○つまずきやすいと考えられる内容では、「例題→練習→確認」という問題演習場面を設定し、丁寧な解説を付け、つまずきの克服に配慮している。</p> <p>○単元毎に「チェック→学習内容の整理→確かめと応用」という構成で、振り返りが行いやすいように配慮し、定着度を高めるつくりになっている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験の結果例が示され、そこから導かれる考察・まとめの構成になっているため、自分の考えなどのまとめ方の指針にしやすい工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○「学びを活かして考えよう」で、家庭や地域における生徒の主体的な活動を喚起している。また、インターネットなどを活用した学習方法を提示している。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <p>○掲載する写真やコラム「科学でGO」、巻末「未来への宿題」などで、科学が身の回りにあふれていることや、科学の有用性を伝える工夫がある。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験の結果を分析・解釈するために、結果・考察の視点を示して、事実を認識させ、根拠に基づいて考えさせるような工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験ごとにマークを赤文字で目立つように「注意」と記し、即座に紙面から理解できるように工夫されている。環境保全のコーナーも充実している。</p>	
	資料	<p>○巻頭折り込みの写真ページを始め、鮮明で新しい写真を掲載している。また、イラストや写真が詳細かつ大きな提示となっており、生徒が理解しやすい構成となっている。</p> <p>○「科学でGO」や「from japan」が充実しており、発展的な内容と実生活や実社会につながりをもたせている。</p>	
	表記・表現	<p>○全学年とも本文は常体で記されている。重要語句には、ゴシックの太文字を使用し見やすくなっている。</p> <p>○様々なマークを使い、わかりやすくするような配慮がある。特に「書く」マークや「話す」マークで、表現力や探究力の育成をねらっている。</p>	
総括		<p>○課題の探究過程が、「予想しよう」「調べよう」「学びを活かして考えよう」等、探究的な流れで構成されており、生徒の主体的な取り組みや言語活動を促すような配慮がなされている。また、「科学でGO!」など、豊富な写真やコラムにより、生徒に自然の不思議さや科学の楽しさなどについて伝わるように編修されている。</p>	

項目		書名	4 大日本図書
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○科学的に探究する過程を重視し、課題を解決する流れを明確にして、学習意欲を高める観察・実験の例を豊富にとりあげている。また知識・理解を確実に定着させるために解説文や図解を充実させている。</p> <p>○学習内容に関連する日常生活や職業との関連を資料で紹介し、理科への興味・関心を高め、「発展的な学習内容」を充実させて理解を深めることができるようにしている。</p>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○つまずきやすい計算では、例題と解答例を示して解説している。</p> <p>○単元末のまとめが充実しており、これまでに学習した基本的用語や単位を示して、振り返りが行いやすように配慮している。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験の結果例が示され、自分の結果と比較でき、「結果からわかること」を導く活動で思考力、判断力、表現力を養う工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○「やってみよう」で、身のまわりの事物・現象について、生徒各自が探究できる配慮が多くなされている。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <p>○学習内容にかかわる科学の話題を「トピック」、日常生活や社会との関連を「くらしの中の理科」として資料を多く掲載している。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験の考察における視点を示して、どのように考察を行えばよいのかわかるような工夫がみられる。さらに、「話し合ってみよう」で言語活動を促す工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験で、特に安全面を十分に配慮した構成になっており、赤文字で大きく「注意」と記して、その説明も一目でわかるように色分けしている。</p>	
	資料	<p>○写真やイラスト、巻末資料など、発展的な内容を含め、豊富に掲載し、意欲と関心を高める工夫がみられる。</p> <p>○基礎技能を巻末に掲載し、常に確認することができるようになっている。</p> <p>○有効数字や単位の記号、グラフのかき方などについてまとめ、分析・解釈の力を高められるようにしている。</p>	
	表記・表現	<p>○全学年とも本文は常体で記されている。重要語句には、ゴシック体の太文字を使用して見やすくなっている。</p> <p>○「やってみよう」のコーナーが、その単元中にある各項目の学習終了後のタイミングで提示されており、学習の流れが円滑になる工夫がなされている。</p>	
総括		<p>○キャラクターの会話や「やってみよう」を通して、問題解決に取り組む生徒の主体的な活動を促し、身のまわりの事物・現象について、好奇心をもって探究できる編修となっている。また、実験器具の基本操作や、過年度のまとめを含め、学習のまとめが簡潔・丁寧に記載されており、学力向上のための配慮が多く盛り込まれた編修となっている。</p>	

項目	書名 <h1 style="text-align: center;">中学校 科学</h1> <p style="text-align: right;">11 学校図書</p>	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が主体的に 目的意識をもって自然の事物・現象について観察・実験を行い、科学的に探究する能力の基礎と態度の育成とともに、それらについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うための十分な手立てがとられている。</li> <li>○基本的用語や単位を示して、振り返りが行いやすように配慮している。</li> <li>○科学技術と職業との関連を「科学を仕事に活かす」で紹介することで、科学は生活に密接に関連していることを意識できるようにしている。</li> </ul>	
特色	<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「公式」は、覚えるだけでなく、どのように活用すればよいのか、具体的な例題をもとに、その解き方をわかりやすく解説している。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験の結果例が示され、そこから導かれる考察・まとめの構成になっているため、自分の考えなどのまとめ方の指針にしやすい工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験において、操作の手順を流れ図で示し、生徒が主体的に取り組みやすいようにしている。</li> </ul> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容が日常生活のどのようなどころに応用されているのか「科学の窓」や「発展」として資料を多く掲載している。</li> <li>○学習した内容と関連した職業を紹介することで、科学は生活に密接に関連していることを理解できるようにしている。</li> </ul> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験の考察における視点を示して、どのように考察を行えばよいのかわかるような工夫がみられる。さらに、「話し合ってみよう」で言語活動を促す工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験で安全に対する配慮が必要な箇所は、赤字で大きく「注意」と記して、目に留まりやすい。その説明も記述している。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習の基礎技能を巻末に掲載し、常に確認することができる。</li> <li>○実験器具の使用方法やレポートの書き方などが巻末に掲載されていて、確認しやすくなっている。</li> <li>○誤差と有効数字や単位の記号、レポートの書き方などについてまとめ、分析・解釈の力を高められるようにしている。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年とも本文は常体で記されている。重要語句には、ゴシック体の太文字を使用して見やすくなっている。文字や図の視認性についても配慮している。</li> <li>○左右どちらのページも、本文が左側に、補足が右側になるよう統一したレイアウトにしている。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○章の初めには大きな写真とともに学習のねらいと、小学校での既習内容が示され、章末問題、単元末問題、総まとめ問題の充実や、キャラクターなどによる思考の手助けを図り、問題解決的な能力や科学的な思考力を高める工夫など、学力の向上のための配慮が盛り込まれている。また、写真やイラスト、巻末資料などを豊富に掲載し、意欲と関心を高める工夫が見られる。</li> </ul>	

書名		中学校 理科	17
項目			教育出版
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的に探求していく過程を重視し、関連する知識を身に付けて、課題や目的に対する真理を追究する態度を養うことができるような編修になっている。</li> <li>○身近な事象や学習した内容との関連から様々な科学技術を紹介し、職業観にもつなげている。</li> <li>○生命や環境とかかわる場面を多く設定し、自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うことができるようにしている。</li> </ul>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○章や節の振り返りには「要点をチェック!」、単元末には「要点と重要語句の整理」「思い出そう」のコーナーなど、既習事項の確認が充実している。</li> <li>○学習したことを定着させる「基礎・基本問題」→「活用・応用問題」→「総合問題」で学力の定着を図る工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験の結果と考察の例を「わたしのレポート」として示し、自分の考えのまとめ方の指針にしやすい工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験において、操作の手順の流れ図で示している。「考えよう」「話し合おう」は、学習途上における思考過程の契機・機会として効果的である。</li> </ul> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容が日常生活のどのようなところに応用されているのか「ハローサイエンス」として資料を多く掲載し、関連が実感できるように工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験の考察における視点を示すとともに、「観察から」「実験から」を明示し、分析・解釈の力を高められるような工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験を安全に実施することができるように、見やすい位置に5つのマークを使って注意を喚起しつつ、具体的な禁止・注意事項を記載している。</li> </ul>	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習の基礎技能を巻末に掲載し、常に確認することができる。</li> <li>○単位の仕組みや小数の計算、割合などについてまとめ、苦手とする生徒の多い計算を克服しやすいようにしている。</li> <li>○ダイナミックな写真や理解を促すイラスト、さらに、生活や歴史などに関連したコラムなどを豊富に掲載し、学習意欲と興味・関心を高める工夫をしている。</li> </ul>	
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年とも本文は常体で記されている。重要語句には、朱色の太文字を使用するなど、誰にでも見やすい配色を考えた表記となっている。</li> <li>○文字や図が縦に読めるようなレイアウトとなっており、読みやすい。</li> <li>○様々なマークを使い、一目でわかるように配慮されている。</li> </ul>	
総括		<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験においては、疑問をもつことから始まる探究過程を重視した構成となっている。結果までと、考察などのまとめのページを変え、科学的な見方や考え方の育成を図る配慮がなされている。また、写真やイラスト、コラム、巻末資料などを豊富に掲載し、意欲と関心を高める工夫がみられ、文字の大きさや配色、配列、図や写真のレイアウトが整然としており、判読しやすい編修となっている。</li> </ul>	

項目		書名	61 啓林館
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>未来へひろがるサイエンス</p>	
特色	内容	<p>○第2期教育振興基本計画が目指す「自立・協働・創造」の力を高めるために、必要な知識を習得・活用し、問題解決を図り、思考力・判断力・表現力を育成するための構成となっている。</p> <p>○科学・技術の利用や日本各地の環境の保全について考えるページを設定することで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b>                      ○各章の先頭と単元内に「振り返り」を設けており、既習事項が確認できる。                      ○密度や濃度の間違いやすい計算では、計算の仕方を紹介している。                      ○用語の確認では、青色シートを利用した繰り返し学習を可能にしている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b>                      ○観察・実験の結果と考察の例を「わたしのレポート」として示し、自分の考えのまとめ方の指針にしやすい工夫がされている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b>                      ○観察・実験のページにゆとりがあり、操作の手順がわかりやすい。                      ○生徒の興味・関心を引く、おもしろい観察・実験やもの作りを掲載している。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b>                      ○学習内容と日常生活のどのようなところに関連があるのか「部活ラボ」や「先人の知恵袋」「はたらく人に聞いてみよう」として多く掲載され、科学と生活の関連を示している。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b>                      ○観察・実験の結果と考察をまとめるポイントがわかりやすく示され、科学的な見方や考え方を育成する工夫がされている。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b>                      ○「実験チェックリスト」「気をつけたい実験操作」などの記載に十分なスペースを設け、安全面に配慮している。環境保全についても充実している。</p>	
	資料	<p>○科学の話題や興味深い活動を扱った資料を豊富に掲載している。</p> <p>○自力解決を図るために、キーワードの紹介、一部書き出し文や結びの文を示すなどの工夫をしている。</p> <p>○本冊の図や写真は見開きの両側と下部にまとめ、紙面上の情報と視線の動きを整理し、読みやすさを重視している。</p>	
	表記・表現	<p>○全学年とも本文は常体で記されている。重要語句には、ゴシックの太文字を使用して見やすくなっている。</p> <p>○様々なマークを使い、わかりやすくするような配慮がある。</p> <p>○青色シートを用いることにより、個々の学習に支障がでない配慮をしている。</p>	
総括		<p>○「本冊」と分冊にした「マイノート」には、基礎から応用までの演習問題の他、観察・実験の結果や考察も直接記入することができ、科学的な思考力や表現力などの学力の向上を図る工夫がなされている。また、演示実験が困難な実験写真や、詳細かつ大きなイラストなどが多く掲載され、生徒に科学に対する興味・関心をもたせ、科学的な見方・考え方を養う場面が随所に設定されている。</p>	

項目		書名	音楽のおくりもの	17 教出
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり			<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領の目標及び内容を、[共通事項]を窓口に音楽を捉えながら、幅広い音楽活動を展開できるよう、基礎・広がり・活用の「三つの柱」で構成されている。</li> <li>○音楽に対する感性を豊かにし、豊かな情操を養うための教材や解説が示されている。</li> <li>○教材は我が国や諸外国の音楽文化について理解させると共に、幅広い学習活動ができるよう構成されている。</li> </ul>	
特色	内容		<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○[共通事項]の用語や記号を当該ページの小口に掲載し、楽典のページとのリンクがはかられ、常に意識できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽を形づくっている要素に注目し、言語活動が行えるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各教材には、「Let's try」「伝えてみよう」「音のスケッチ」のコーナーがあり、活動の手順が分かりやすくまとめている。</li> <li>○歌唱共通教材「日本の歌みんなの歌」では、作者の紹介と「A Message for you」で示され、写真や縦書きの歌詞が掲載されている。また、「歌のアルバム」として発達の段階に応じた合唱曲も掲載されている。</li> </ul> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばすための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各教材には、学習のめあてが二つずつ縦書きで記載されている。</li> </ul> <p><b>&lt;音楽文化についての理解を深めるための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の伝統音楽の魅力を伝えたり、受け継ぐためにできることを考えさせる課題が用意されている。</li> <li>○日本と世界の音楽を聴き比べる課題が設定され、実際に体験して楽しめるような工夫がある。</li> <li>○「With my heart」では、現在活躍中の著名人が音楽の魅力を伝えている。</li> </ul>	
	資料		<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭・巻末のカラーページでは、日本の音楽やオーケストラの楽器の写真が掲載され、音楽を身近に感じられる工夫がある。</li> <li>○AB変形判による楽典や写真は、必要な情報が見渡せるよう工夫されている。</li> <li>○作曲者と歴史の背景が簡潔にわかる「音楽史年表」が、鑑賞ページの右側小口に配置されている。</li> <li>○歌唱教材には、作詞・作曲者の楽曲への思いが「A Message for you」として示され、表現活動のヒントとなっている。</li> <li>○「私たちのくらしと音楽」では、音楽著作権やインターネット・コンピューターと音楽について触れ、生涯音楽を楽しむ手立てが書かれている。</li> </ul>	
	表記・表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>○色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などのユニバーサルデザイン化により、特別支援教育への対応がなされている。</li> <li>○[共通事項]の用語や記号について、当該ページの小口に掲載するとともに、参照できるよう巻末の「楽典」ページがわかりやすく示されている。</li> </ul>	
総括			<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い音楽活動を展開できるよう、基礎・広がり・活用の「三つの柱」で構成されている。</li> <li>○生徒や学校の実態に応じた選択が可能となる「歌のアルバム」には、「工夫してみよう」というコラムがあり、主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされている。</li> <li>○命の大切さ、思いやりの心など道徳教育に資する歌唱教材が掲載されている。</li> <li>○直接記入できる工夫があり、学習活動経過を教科書に残せるようになっている。</li> </ul>	

項目	書名 <h1 style="text-align: center;">中学生の音楽</h1> <div style="text-align: right;">27 教芸</div>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○学習指導要領に示された内容と各教材との関連が「音楽学習 MAP」で示され、歌唱・創作・鑑賞のバランスのとれた内容で、基礎的な技能や表現力が身に付けられるよう配置されている。また、音楽に対する感性を豊かにし、豊かな情操を養うための教材や解説が示されている。</p> <p>○題材は「共通事項」を支えとした学習が確実に行われるよう設定され、表現と鑑賞の関連を図りながら、構成されている。</p>
特色	<p><b>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</b></p> <p>○歌唱・創作・鑑賞教材には学習目標と、それに迫るための具体的な学習活動の手順が示され、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるように配慮がなされている。</p> <p><b>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</b></p> <p>○思考・判断を行うための指針となる問いかけを「吹き出し」の形で示してあり、学習の観点が明確になっている。</p> <p><b>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</b></p> <p>○「My Melody」「Let's Create!」などの創作の学習では、手順が分かりやすく示され、個人活動とグループ活動等によって主体的に「協働」しながら学習する工夫がなされている。</p> <p>○学習の窓口では、[共通事項]が示され、主体的に学習を進める構成になっている。</p> <p><b>＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばすための工夫＞</b></p> <p>○音楽に関する基礎的な技能を養うことができるよう、「My Voice!」や「指揮をしてみよう!」といったコラムでは、基礎的な技能を主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○「BINGO GAME」「RHYTHM GAME」「ここが分かれば Grade up!」等、音符や休符、読譜等のための基礎を確実に習得できるような教材が用意されており、創意工夫して表現するための解説が示されている。</p> <p><b>＜音楽文化についての理解を深めるための工夫＞</b></p> <p>○我が国の伝統的な音楽や郷土の伝統芸能の学習が確実に行われるよう配慮されている。また、アジアやヨーロッパの音楽に発展できるよう課題が用意されている。</p> <p>○発展的学習では、日本以外の鑑賞活動の楽曲に、「この頃、日本では…!？」というコーナーがあり、同時代の日本の歴史等に触れる工夫がある。また、「Challenge!!」というコーナーでは、さらに発展的学習課題が用意されている。</p> <p>○「心の歌」「歌い継ごう日本の歌」「心通う合唱」では、小学校の既習曲等を混声合唱に編曲したもの、同一曲を学年に応じて編曲したもの、世代間や他の国との交流を意識した歌唱教材が用意されている。</p>
	<p><b>資料</b></p> <p>○巻頭・巻末に口絵として幅広い音楽への興味・関心が高められるような資料が用意され、より興味・関心をもてるよう工夫されている。</p> <p>○2・3年下では、日本や諸外国の音楽文化や舞台に関わる情報や生涯音楽と向き合うためのルールや著作権法の内容が取り上げられている。</p>
	<p><b>表記・表現</b></p> <p>○歌唱共通教材は、楽譜、縦書きの歌詞、ピアノ伴奏譜、写真が掲載されている。</p> <p>○重要な学習事項が優先的に目に入るようなシンプルなユニバーサルデザインである。</p>
<p><b>総括</b></p>	<p>○グローバル化に対応するよう、全学年に「歌い継ごう日本の歌」として童謡や唱歌などが取り入れられ、世代を超えて日本文化の共有ができるように工夫されている。</p> <p>○命の大切さ、思いやりの心など道徳教育に資する歌唱教材が掲載されている。</p>



項目	書名 音楽のおくりもの 中学器楽	17 教出
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○前半は楽器の基礎的な知識や奏法でまとめられている。後半はアンサンブルを中心とした「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」で構成されている。器楽表現と鑑賞の領域を横断した教材や、器楽と創作の分野を結びつけた教材がバランスよく配置されている。</p> <p>○7種類の楽器の紹介の主要部分の解説と、関連曲の紹介や、演奏レベルによる選択が可能な新しい曲が豊富である。音楽を愛好する心情を育て、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすために、様々な奏法が具体的に示されている。</p>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○楽器の持ち方・構え方が様々な角度から示され、正しい奏法を習得できるようになっている。</p> <p>○リコーダーでは、音域を徐々に広げながら、無理なく二重奏へとつながるように、曲順にも工夫がなされている。ページ横に運指がある。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○よりよい演奏への手がかりが、キャラクターの吹き出しで示されている。</p> <p>○「音のスケッチ」という創作コーナーがあり、リズム・旋律等の創作で幅広い音楽の活動ができるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○「With My Heart」のコーナーでは、演奏家の音楽への思いや生き方が語られている。</p> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばすための工夫&gt;</b></p> <p>○後半の「Let's Play」のコーナーでは、興味・関心をもてる新しい曲も取り入れられ、音楽を楽しむ工夫がなされている。</p> <p>○リコーダーの楽曲は、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーのどちらのリコーダーでも学習できるよう運指も示され、選択して学習できるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;音楽文化についての理解を深めるための工夫&gt;</b></p> <p>○我が国や郷土を愛する心を育成できるように、我が国の伝統的な歌唱曲やわらべ歌などの音楽を教材として取扱っている。</p> <p>○「Let's try」では、世界の音楽のリズムに触れられるように工夫されている。</p>
	資料	<p>○演奏家の演奏場面の写真とメッセージ、音楽制作現場の写真が掲載されている。</p> <p>○AB変形判により音楽史、ギター&amp;キーボードコード表、リコーダーの運指がわかりやすく紹介されている。</p> <p>○扱っている楽器は、リコーダー、ギター、箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八の7種類である。</p> <p>○「手作り横笛」のページもあり、興味を高められる工夫がある。</p> <p>○巻末には楽典がまとめられ、演奏に役立てるよう工夫されている。</p>
	表記・表現	<p>○ユニバーサルデザインによる色覚等の特性を踏まえた判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字の工夫がある。</p> <p>○楽器の基本的な奏法が写真やイラストを使って説明されている。</p> <p>○和楽器においては、五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されている。</p> <p>○巻末のギター&amp;キーボードコード表は、主要なコードを、指で押さえた手の写真入りで載せられているので初心者にも押さえ方がわかりやすい。</p>
	総括	<p>○楽曲は、鑑賞教材との関連教材が豊富に掲載されている。</p> <p>○「名曲旋律集」では、名曲の解説とリコーダーで演奏する編曲が掲載されている。</p> <p>○リコーダー、箏、三味線を学習するコーナーには、鑑賞教材との関連教材が豊富に掲載されており、表現と鑑賞の領域を学べるよう工夫がなされている。</p>

項目	書名 <h1 style="text-align: center;">中学生の器楽</h1> <span style="float: right;">27 教芸</span>	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○音楽科の学習を通して知識・技能の向上を図ることができるよう、「音楽学習MAP」を示し、学習指導要領に示された「内容」や[共通事項]との関連をもった学習が確実に行われるよう工夫されている。</p> <p>○教材は親しみやすい楽曲が多く、音楽的な基礎的な能力を伸ばし、主体的な音楽活動ができるよう基礎からアンサンブルへと、段階的に構成されている。</p>	
特色	<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b> ○各楽器の持ち方、構え方、構造などを、様々な角度からの写真やイラストの資料の掲載により、基礎的・基本的な技能が定着できるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b> ○活動のヒントとなる「音を聴いて確かめよう」「ここが分かればGrade up!」のコーナーでは、それぞれの楽器の特徴ある音色に注目させ、[共通事項]と関連させながら、表現力を育てる工夫がなされている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b> ○「練習のポイント」や「Q&amp;A」「吹き出し」により、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばすための工夫&gt;</b> ○「My melody」のコーナーでは、創作活動に取り組めるよう教材が配置されている。</p> <p>○「Let's Play instruments!」の打楽器コーナーでは、12種類の打楽器の基礎的・基本的な構えと奏法が写真で紹介されており、それぞれの楽器の特徴を生かした演奏に役立つ工夫がなされている。</p> <p>○各楽器とも、平易な練習曲から学習が進められるようになっており、様々な楽器編成やアンサンブル教材を選択できるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;音楽文化についての理解を深めるための工夫&gt;</b> ○我が国の伝統的な楽器等に親しみがもてるよう、写真と「楽器を知ろう」の解説が用意されている。</p> <p>○親しみやすい楽曲が豊富に用意され、平易な楽譜で簡単に演奏を楽しめるよう工夫されている。</p>
	<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>○リコーダーのアーティキュレーションの奏法の説明で、音楽表現をより豊かにするためのヒントが示されている。</p> <p>○扱っている楽器は、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器の8種類である。</p> <p>○それぞれの楽器の種類や用いられる場面などの写真が豊富であり、興味・関心を広げる工夫がなされている。</p> <p>○発展的学習の「楽器と出会う」のコラムでは、著名な演奏家の興味深い思いが掲載されている。</p> <p>○奏法だけでなく姿勢や礼儀にも触れ、日本の伝統楽器のよさを知ることができる。</p>
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<p>○練習の手順が写真とともに丁寧に示されている。</p> <p>○箏、三味線、和太鼓では、リズムの感じがつかみやすくなるよう唱歌や楽器独自の記譜が掲載されている。</p>
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<p>○リコーダーやギターのチューニングや扱い方の資料も多く、丁寧に解説されている。</p> <p>○後半のアンサンブルコーナーでは、鑑賞との関連教材が豊富である。また、各楽曲には、アンサンブルのヒントが示されている。</p>	